

2025 年 9 月 24 日

報道関係各位

GMO インターネットグループ株式会社

GMO AI&ロボティクス商事株式会社

日本初、ヒューマノイドロボットで AI・CEO を実体化！
GMO インターネットグループ、
AI・CEO 「ヒューマノイド 熊谷正寿」を実現

GMO インターネットグループ（グループ代表：熊谷 正寿）は、グループ会社である GMO AI&ロボティクス商事株式会社（代表取締役社長：内田朋宏 以下、GMO AIR）とともに、独自 LLM でパートナー（従業員）の意思決定を加速するプロジェクト「GMO Brain AI プロジェクト」の一環として、日本で初めて AI・CEO をヒューマノイドロボットで実体化し、AI・CEO 「ヒューマノイド 熊谷正寿」を実現いたしました。



【AI・CEO「ヒューマノイド 熊谷正寿」について】

「ヒューマノイド 熊谷正寿」は、投げかけられた質問に対し、熊谷正寿の思考やフィロソフィー、「GMO イズム」に基づいて回答する AI・CEO です。AI を搭載したヒューマノイドロボット「Unitree G1」（以下、G1）に、GMO インターネットグループの「AI 熊谷正寿」^(※1) の開発を通じて培ったノウハウと、GMO AIR が 2025 年 8 月におこなった日本科学未来館での実証実験^(※2) のノウハウを活用して開発されました。口頭で質問すると音声で認識・理解し、グループ代表 熊谷正寿の思考やフィロソフィー、「GMO イズム」^(※3) に基づき、音声で回答します。

また、既存の AI・CEO に関する事例は、主にバーチャルなアバター、映像、ネット上、または社内ポータル上で運用される形態であり、実体としてロボットに搭載される事例は日本初^(※4) となります。

なお、9 月 25 日（木）に開催予定の「GMO AI・ロボティクス大会議&表彰式」^(※5) にて初披露いたします。

GMO インターネットグループでは、「ヒューマノイド 熊谷正寿」の活用可能性をさらに探るべく、会議やお客様対応などで「ヒューマノイド 熊谷正寿」に活躍してもらい、社内での実用化に向けた検証を継続いたします。また、本検証のレポートも後日公開する予定です。

本取り組みは、AI 活用の域を超え、GMO インターネットグループが 100 年単位で成長する将来のグループ運営まで見据えた実験です。GMO インターネットグループは AI 活用ナンバー1 企業グループを目指して、この取り組みを推進してまいります。

(※1) <https://group.gmo/news/article/9305/>

(※2) <https://group.gmo/news/article/9639/>

(※3) 「GMO イズム」とは、パートナー（従業員）全員が共有・実践すべき行動指針、ノウハウ集、思考法。「すべての人にインターネット」という企業理念の実現と、100 年単位で続く組織となるための価値観と成功法則を体系化したもの

(※4) GMO インターネットグループ調べ

(※5) <https://group.gmo/security/ai-robotics/conference/2025/>

【「GMO Brain AI プロジェクト」について】

GMO インターネットグループでは、今後あらゆる局面において意志決定のさらなる高速化が必要であると考え、「GMO Brain AI プロジェクト」を 2024 年 7 月より進めてきました。

その第 1 弾として、社内向け独自 AI ツール「AI 熊谷正寿」をパートナー（従業員）に向けて 2024 年 12 月に社内ポータルサイトで提供開始しました。「AI 熊谷正寿」は熊谷正寿の思考やフィロソフィーと GMO インターネットグループのカルチャーが集約・言語化された「GMO イズム」を学習した“バーチャル知的ナビゲーター”です。チャットボットを通じた対話をおこなうことで、事業における意志決定のさらなる高速化が可能となりました。これまでに 3,500 セッション以上、6,800 回を超える対話が行われてきました。

【グループ代表 熊谷正寿のコメント】

現在当グループでは、「GMO イズム・GMO 流会議術 10 カ条」に基づき、すべての会議で AI による録画・議事録作成をおこなっています。これらは、単に業務効率化を図るだけではなく、これまでに会議で私が発言し判断した内容などを AI が理解出来るデータとして蓄積することを真の目的としており、「GMO Brain AI プロジェクト」と地続きの取り組みです。こうして、蓄積した膨大なデータを将来的に AI・CEO「ヒューマノイド 熊谷正寿」に学習させ、あらゆる判断を適切におこなえるよう進化させる予定です。オフィス内を「ヒューマノイド 熊谷正寿」が移動し、社内の重要会議に私の代わりに自ら出向き出席することが出来るようになることも視野にいています。

何より AI・CEO は 24 時間稼働が可能で、CEO の 1 日の労働時間を 8 時間とした場合、その 3 倍以上の働きを担うことができることが強みです。しかも「ヒューマノイド 熊谷正寿」はコピーも無限大に可能で、何箇所でも同時に稼働させることが出来ます。パートナー全員（8,000 人）との 1 on 1 の面談実施等、様々な活用方法を考えています。

インターネット革命後半戦は AI とロボティクスが主役です。人間は食べたり寝たり生きていくための活動が必要な中で、ヒューマノイドロボットは 24 時間働き続けることができ、この圧倒的な生産性の差は、ビジネスの在り方を根本から変えるでしょう。



今回、AI・CEO がこれまでの画面上での対話から、実体を持つヒューマノイドロボットとして動き出すことが実現しました。これは日本初の試みであり、AI を取り入れて既存サービスの質を向上させるという我々の理念の実践です。

将来的には次期グループ代表候補の一人として、現在の経営陣と切磋琢磨できる存在へと進化させることを目指しています。我々はこのヒューマノイドロボットの活用を通じて、『AI で未来を創る No.1 企業グループ』を目指します。

【GMO インターネットグループの AI とロボティクスへの取り組み】

(URL: <https://group.gmo/ai-history/>)

GMO インターネットグループは、産業革命は約 55 年周期で進行すると捉えています。1995 年の Windows95 発売がインターネット革命の始まりとすると、折り返し地点にあたる 2022 年に ChatGPT が登場しました。まさに「インターネット革命後半戦」を担う主役は「AI とロボット」であると確信し、「AI で未来を創る No.1 企業グループへ」をスローガンに以下の 3 つの指針のもと取り組みを推進しています。

1. 時間とコストの節約
2. 既存サービスの質向上
3. AI 産業への新サービス提供

この取り組みの一環として、以下の事例をはじめ、さまざまなプロジェクトの展開を進めてきました。

■事例 1 : GMO AI&ロボティクス商事株式会社の設立 (<https://ai-robotics.gmo/>)

GMO AIR は、AI・ロボット事業を担う商社として 2024 年 6 月 18 日に設立されました。AI 技術とロボットの導入、活用支援を中心に、さまざまな業界において効率化と自動化を促進する革新的なソリューションを提供します。

GMO AIR は、国内外のロボットの提供にとどまらず、GMO インターネットグループの強みであるインターネットインフラサービスや、金融事業を活用したレンタルやリース、AI コンサルティングをあわせてご提供することで、人口減少などの社会課題を解決し、安全で持続可能な未来の実現を目指します。

2025 年 4 月には、お客様の用途やご要望に合わせて動作プログラムを組み込んだヒューマノイドロボットを派遣するサービス、「ロボット人材派遣型サービス」を国内で初めて開始しました。

■事例 2 : 「AI 熊谷正寿」のリリース

「AI 熊谷正寿」は、2024 年 12 月に、GMO Brain AI プロジェクト第 1 弾として社内に公開した、必要ときにいつでもアクセス可能な「GMO イズム」の指南役として社内向けにリリースした AI チャットボットです。パートナーは、チャットボットとの対話を通じて、GMO インターネットグループが培ってきた理念・哲学・ナレッジを活用することができます。

【「GMO イズム」とは】

GMO イズムとは、GMO インターネットグループが掲げる不変の目標「スピリットベンチャー宣言」をはじめ、リーダーの心得、勝利の法則などをまとめたものです。これは一般的には企業理念に相当しますが、全パートナーが定期的に唱和し、心に刻み込み、実践し、コーポレートキャッチである「すべての人にインターネット」を実現するための指針としています。

●参考 : スピリットベンチャー宣言 <https://www.gmo.jp/brand/#philosophy>

【GMO インターネットグループについて】(<https://group.gmo/>)

GMO インターネットグループは、ドメインからセキュリティ、決済までビジネスの基盤となるサービスをご提供するインターネットインフラ事業を主軸に、インターネット広告・インターネットセキュリティ、インターネットメディア事業、インターネット金融事業、暗号資産事業を展開する総合インターネットグループです。

お客様に喜ばれるサービスを迅速かつ低価格で提供するために、サービスは機器の選定から設置、構築、開発、運用までを内製化することを基本方針としています。そのため、グループ 120 社以上に在籍する約 8,000 名のパートナーのうち、IT のモノづくりを担う開発者（エンジニア・クリエイター）が 50%を超えています。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム

TEL : 03-5456-2695

問い合わせフォーム : <https://www.group.gmo/contact/press-inquiries/>

【GMO AI&ロボティクス商事株式会社】(URL : <https://ai-robotics.gmo/>)

会 社 名	GMO AI&ロボティクス商事株式会社
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 内田 朋宏
事 業 内 容	■AI 活用導入支援 ■ロボット・ドローン導入・活用支援
資 本 金	1 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.group.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社（東証プライム市場 証券コード 9449）
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷正寿
事 業 内 容	持株会社（グループ経営機能） ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円

